

# 学力向上に向けた取組

函館市立臼尻小学校

## 1 課題

- 意図的・計画的な指導を通じた基礎的・基本的内容の習得
- 読書習慣の定着
- 場に応じた表現力・伝え合う力・話し合いの基本的なやり方の育成

## 2 課題解決の具体策

- ① 朝自習・朝読書・学習の時間・放課後学習・家庭学習の取り組み・個に応じた指導の充実・繰り返し指導
- ② 読書活動の推進
- ③ 縦割り班活動の取り組み

## 3 取組の概要

- ① について 「朝自習」・・・毎週水曜日以外の4日間(基礎学力向上のための漢字・計算の基礎ドリル等について取り組む。) 「学習の時間」・・・基礎基本の徹底を図る指導法の工夫、児童個々の実態に合わせた指導の工夫、表現力育成のための国語・特別活動(学級活動)での話し合い活動の工夫、学校図書館・ITの活用 「放課後学習」・・・外部からの講師による補足的な学習の実施。 「家庭学習」・・・保護者との協力のもと、各児童が目標を持ち、取り組む。 「うすじり寺子屋」・・・地域の方のお店を開放してもらい、ボランティアと先生方で指導にあたる。冬季休業中に補習学習を実施。
- ② について 「朝読書」・・・読書習慣を定着させるため、毎週水曜日を朝読書の時間として設定、読書感想文の作成につなげている。図書委員による貸し出しの呼びかけ(休み時間)。
- ③ について 「臼小集会」・・・異学年のグループによる縦割り班活動を主体にして集会活動に取り組む。本番に向けて、縦割り班の特長を生かして取り組む。

## 4 成果と課題

- 児童の学習意欲が高まり、自ら課題に取り組む姿勢が身につき、そこから「家庭学習」へと意欲が繋がっていった。
- 多くの児童が図書室の本を借りるなど、読書習慣の定着が多くみられた。(休み時間の利用)
- 高学年は話し合いの進め方、低学年は考えを伝える態度に向上が見られた。(臼小集会)
- 「家庭学習」への意欲は児童個々で格差が生じることもあり、学級懇談等でそれらについて説明し、協力をお願いしている。

